



目次

2 … 新年のあいさつ  
4 … 新春特別インタビュー  
「私たち、こんなことをしておばねの冬を楽しんでいます！」  
8 … 市からのお知らせ／11 … 国民健康保険／12 … 申告相談  
14 … 償却資産申告・年金・各種相談／16 … 施設だより  
18 … みんなの健康だより／20 … お年玉クイズ

令和4年  
1/1  
新春号

市報おばなざわ No.844  
お知らせ版 No.547



新春恒例

# お年玉クイズ



▲ふるさとCM大賞の尾花沢市の作品

第21回山形ふるさとCM大賞の尾花沢市の作品の一場面から出題です！  
尾花沢市の作品は技術賞を受賞し、YTSで年間130回放送されます。  
(写真左がCM大賞で実際に使われた写真です)



## 応募方法

- ①郵便番号、住所②氏名③年齢④クイズの答え⑤市報で取り上げてほしい尾花沢のプチ情報（絶景スポット、変わった食べ物、不思議な物、地域の風習、面白い取り組みをしている人等）
- ①～⑤全てをハガキに書いて、下記にお送りください。Eメールでの応募も可能です。
- ◆応募締切／1月21日(金)必着
- ◆発表／市報2月15日号に掲載
- ※当選者の氏名と地区名を市報に掲載しますのでご了承ください。
- ◆応募先／〒999-4292  
尾花沢市若葉町一丁目2番3号  
尾花沢市総合政策課「お年玉クイズ係」
- ◆Eメールでの応募はこちらから  
info@city.obanazawa.yamagata.jp



今年のお年玉クイズは  
まちがいさがしです。

2枚の写真には明らかにちがうところがあります。まちがいの数を次から選び、ご応募ください。(影や光の反射の違いは含みません)

**A 1個 B 2個 C 3個**

正解者の中から抽選で、はながさ商品券**1等**5千円分(1本)、**2等**3千円分(2本)、**3等**1千円分(10本)を差し上げます。

## 表紙

### 水鳥に心洗われる瞬間

午前9時半過ぎ、徳良湖は真っ白な霧に包まれていました。風もなく、シンとした空気の中に響くのは、白鳥の鳴き声と水しぶきの音だけ。

カメラを必死に構える目の前に、霧の中から突如現れた2羽の白鳥。水の中にもぐったり、羽づくろいをしたりしながらゆったりと水面をたゆたう鳥たちに、私たちの生きるべき本来の姿を見たような気がして、気持ちが洗われる思いをした瞬間です。  
(12月10日 徳良湖にて撮影)

# 謹賀新年

「人にやさしくあったかい元気な尾花沢を目指して」

あけましておめでとうございます。皆様には、穏やかで輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスの影響で延期していた東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、本市出身の太田渉子選手がパラリンピックのテコンドー女子に出場いたしました。太田選手の「挑戦って楽しい」の言葉通り、世界の強豪相手に果敢に挑む姿は、私たち市民に大きな感動を与えてくれました。同時に尾花沢の10年間の羅針盤となる第7次尾花沢市総合振興計画のスタートの年でもありました。「このまちでもともに 生きる しあわせな時を刻むまら 尾花沢」と定めた「まらの将来像」の実現に向かって、新たな取り組みを始めております。

さらに徳良湖築堤100周年の記念すべき年として、徳良湖周辺に県内初の移動式BMX・スケートボードコース「徳良湖バンブートラック場」を開設し、多くの若者が集う新たな賑わいの場を創出することができました。残念ながら予定していた記念事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で延期となりました。今年こそは100周年記念事業をはじめ花笠まつりや各催事を、市民の皆様と盛大に開催できることを期待しております。

4月からは高齢者の交通手段の確保対策として、個人のニーズや生活スタイルに合わせた新しい交通サービス「おばくる」を開始しました。

また、7月からは電車で通う高校生等が無料で利用できる「大石田駅通学線」のバス運行を開始。雪の中を歩いて学校に通う生徒や送迎を行っている保護者の皆様から喜ばれております。

今後も皆様のお声をいただき、「人にやさしくあったかい元気な尾花沢」を目指し、地域と連携した「協働のまちづくり」を進めてまいります。地域の声を変えていくために一層のお力添えをお願い申し上げます。

年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

令和四年 元旦

尾花沢市長 菅根花雄

謹んで新春のお慶びを  
申し上げます

議長 青野 隆一  
副議長 塩原未知子

議員 菅野 修一	議員 星川 薫	議員 安井 一義
議員 大類 好彦	議員 小関 英子	議員 伊藤 浩
議員 鈴木 裕雅	議員 鈴木 清	議員 和田 哲
議員 菅野 喜昭	議員 奥山 格	議員 鈴木由美子

尾花沢市議会

FILE No.2  
にしつか  
西塚 一太郎さん(鶴子2)



▲スキーのほかに、カメラやミシンかけ、はげご作りと趣味が広い西塚さん。長く続ける秘訣は「適当に、疲れなくらいでやっている」とのこと。

スポーツで一番面白いのはスキー乗り。乗っているときの爽快さ・回転している時の面白さに惹かれ、約50年続けています。

西塚さんは現在86歳。現役でアルペンスキーをしています。小学生の頃から木のスキー板で山スキーに親しみ、現在のようなアルペンスキーをするようになったのは、息子さんたちが中学校を卒業するあたりの昭和47年頃から。以来ずっと続けており、尾花沢はもちろん、蔵王や小国、やくらいなど、様々な熟年スキー大会にも出場しています。

「元気なうちは体を動かさないとダメ。冬場スキーをすると、春から畑仕事をする時に体が良く動くのがわかる」と西塚さん。自宅脇の小屋にはスキーの道具がずらり、整然と並べられており、ワックスをかけるための手作りのメンテナンス台も完備しています。

「シーズン券はもう買ってある」と話す西塚さんは、今冬も花笠高原スキー場にほぼ毎日出かける予定だそうです。

全長6cmの小さな人形を作るのは大変。でも出来上がりの達成感があるからいい。手間をかけた人形はみんなかわいいですよ♡

FILE No.3  
まめにんぎょうあいごうかい(尾花沢地区)  
豆人形愛好会

豆人形は、昭和7年、農家の冬場の副業奨励策として主婦を対象に講座が設けられたのが始まり。当時受講生だった大類サダさんが作り続けていましたが、後継者を育てるため、昭和56年にサダさんを講師に講習会が行われました。現在は、サダさんから教わった折原タカさんが先生となり、5人の会員に指導しています。

人形の顔は、男性は大豆、女性は白っぼいインゲン豆を使っています。針金と紙で作った胴体に、寸法をきっちり測って細く折った布を着せ、帯やてぬぐいなども人間と同じように着付けします。背景の小道具やガラスケースまでも、全てが手作り。指より細い人形作りは神経を使いますが、集中して時間が過ぎるのはあっという間。「こういう時間を持てるのも良い」と皆さん話してくれました。



▲公民館で行われた豆人形講座(簡単バージョン)で興味を持った方が加わり、最近メンバーが1人増えました。現在、総勢6人で和気あいあいと手仕事をしています。

「豆人形教室」は、毎週火曜日の午前9時から、サルナートで開催。興味のある方、ぜひ参加してみませんか。(お問い合わせは 尾花沢地区公民館 ☎(23)2016まで)

❀ 新春特別インタビュー ❀

「私たち、こんなことをしておぼねの冬を楽しんでいます！」

尾花沢の冬というと、雪が多くて毎日除雪するのが大変、通勤にも時間がかかる、などマイナスイメージを持つ人も多いようです。そこで、尾花沢に住みながら自分たちの楽しみを見つけ、雪は多いけれど元気に過ごしている人たちにインタビューをしてみました。

皆さんも自分なりの楽しみを見つけて、1年の内で約4カ月もある「おぼねの冬」を、明るく元気に過ごしてみませんか。



FILE No.1  
いわさきしょうじ  
岩崎将二さん一家(南沢)

花笠高原スキー場でスノーボーがしたくて一家11人で引っ越してきました。雪が待ち遠しくてたまりません！

宮城県大崎市から6月に引っ越してきた岩崎さん一家。0歳~17歳の5男4女のお子さんがある11人家族です。3年ほど前から花笠高原スキー場にほぼ毎日通い、スノーボードを楽しんでいましたが、通うより住んで思う存分スノーボードがしたいと、移住を考えました。そんな時、市の空き家バンクに南沢の空き家が出ているのを見つけて、「これだ！」と運命的な出会いをしたそうです。

南沢での生活は、「毎日が楽しくてしょうがない」と家族全員が声をそろえます。夏はスイカをたくさん食べて、虫捕りもして、満喫しました。「近所の人たちも家族みたいに接してくれて、みんな親切でありがたい」と話す岩崎さん。インタビューした12月11日は、花笠高原スキー場オープンの日でしたが、残念ながらまだ雪がない状態。「雪が楽しみ！」と待ちきれない様子の岩崎さん一家。子どもたちもスノーボードだけでなく、かまくら作りや雪合戦など、雪が降ったらやってみたいことがたくさんあるようです。

将来の夢を聞いてみました。「家族でスイカ農家をして、尾花沢で好きなことをして楽しみたい」「スノーボードでXゲームに出場して優勝したい」「パティシエになりたい」と様々。長男の琉晟さんは念願の花笠高原スキー場で働き始めました。大家族の夢は大きく膨らんでいます。



FILE No.6  
佐藤 洋輔さん(新町3)

早く雪降ってけろ！  
ハマりにハマったスノーモビルで  
大自然の斜面を乗りこなすのが待ち遠しい！

6~7年前、同級生に誘われて乗ったのがきっかけで、ハマりにハマってしまった、という佐藤さん。市内のスノーモビル愛好者20人ぐらいの仲間同士で誘い合い、シーズン中は、毎週近場の山に出かけています。普段は製造業に勤めていますが、休みの日にスノーモビルを乗ることで、仕事のモチベーションアップにもなっているそうです。

「皆でワイワイ言いながら、助け合いながら乗ることで、一体感が生まれる。初めて会った人とも打ち解けられるのがいい。元日からでも乗りたい！」吹雪でも全然問題ない、と話す佐藤さん。「仲間がもっと増えれば、もっと楽しく、尾花沢にもっと活気が出ると思う。尾花沢の冬のイベント『徳良湖スノーランド』でスノーモビル体験があるので、ぜひチャレンジしてみてください！」

▲夏はバイクでツーリングも楽しんでいる佐藤さん。「仲間が増えると、夏場も冬のことを話し合えていいですね」と夏でも冬のことを考えているよう。スノーモビルに乗るときは、もちろん安全装備をして山でのマナーなどに気を付けて楽しんでいます。

FILE No.7  
宝栄フレンズ(粟生地区)

仲間が集まって、笑いながらはけご作りが  
できる冬が楽しみ！  
これがあるから、夏場の農作業も頑張れるんです。

代表の西塚やす子さん宅の小屋の2階にある、秘密基地。西塚さんの旦那さんが手作りしてくれたという小部屋に、アスパラやスイカ農家をしているお母さんたち5人が集まり、冬場の楽しみとしてはけご作りをしています。

はけご作りをするようになって10年以上。公民館での講座に参加したのがきっかけでした。その後、近所で覚えている人に教わったり、朝日町や最上町に行っかごを一つ買ってきて、編み方を皆で見て研究したりしながら、自分たちに合った編み方や模様を作れるようになりました。今は、来年の作品展に出品するはけごバッグ(新作)を編んでいるところです。「皆でアイデアを出し合いながら、とにかくこうやって集まって笑っているのが楽しい！」

今年もパワフルでにぎやかな冬になりそうです。



▲手作りの漬物やお茶うけの料理を持ち寄って、休憩するのも楽しみの一つ。どうやって味付けしているのか、自分の家ではこんな料理を作った、など話し合っていると、「ほら、これで夕飯のおかず一つ出来たべ」。料理の話からいつの間にか耕運機の話になっていたりと、話題も笑いも尽きることはありません。

吹矢を吹いて、ホラを吹いて、仲間が増えた！  
とにかく笑いが一番。  
笑いすぎて腹筋も強くなりました。

FILE No.4  
宮沢宝来吹矢隊(宮沢地区)

「平成28年度に公民館主催の吹矢・ダーツ大会があり、仲間4人で参加したのがきっかけ」と話す会長の押切正信さん。グループ名の由来は、「宮沢に宝が吹矢のごとく来て、皆を幸せにして欲しい」という願いと、「隊員の皆がホラ吹いて、語らいながら吹矢をしたい」という思いを込めたもの。おかげで毎回皆の笑いが絶えず、健康づくり・仲間づくりになっています。冬限定の集まりですが、今年も1人仲間が増え、隊員15人で活動しています。

「農閑期の冬場は、何もしなければ家でこたつに入ってずっとテレビを見ているだけ。吹矢をすることで、身体を動かして退屈しないし、ボケ防止にもなる」「夏は農業をして、冬は除雪や吹矢をして、とメリハリがある」と、皆冬を楽しんでいるようです。



▲「こんな風に仲間が集まって続けていられるのは、発足当時から公民館のサポートがあったおかげ」と話す押切さん。「吹矢教室」は、12月~3月まで、毎週火曜日の午後1時30分から宮沢地区公民館で開催。興味のある宮沢地区の方、参加をお待ちしています！(お問い合わせは 宮沢地区公民館 ☎(22) 0433 まで)

FILE No.5  
矢作 由美子さん(菰袋2)

自分の好きなお菓子作りや料理をしていたら、  
人間関係や仕事がどんどん広がっていききました。  
いろいろな人とおしゃべりできるのが楽しい！



▲舟形から嫁いで約30年。「どうして日に日に家の中が暗くなるのかわからなかった。雪で窓が埋もれていてびっくり！尾花沢に来て初めて雪かきを覚えました」と当時の思い出を語る矢作さん。今は「道路除雪がきれいなので、尾花沢に来て良かった」そうです。

お菓子や料理教室の講師や、企業などからの依頼で手作りお菓子の販売などを行っている矢作さん。現在の仕事に結びつくきっかけになったのは、食べ盛りの息子さんたちを買ってきた大福が足りなくなって、「じゃあ自分で作ってみよう」と思い立ち、実際作ったこと。

添加物をなるべく使わず、地元食材を使うようにした結果、地産地消や食品ロスをなくす取組みにもつながっています。

デコ巻きすしマイスターや食育インストラクター2級など、様々な資格も取っており、2020年には全日本漬物協同組合連合会が主催する「漬物グランプリ2020」個人の部で、摘果スイカを使ったつくだ煮を出品し、金賞を受賞しました。「教えながら自分も勉強になる。いろいろな人と話をして、新しい出会いがあるのも楽しい」と、話す矢作さん。今後は食品関係で今まで自分が目を向けていない、可能性のあるものを試してみたいそうです。

市役所

徳良湖スノーランドオープン

期間／1月9日(日)～2月27日(日)

午前10時～午後3時

場所／ガラススタジオ旭前  
内容／エアボード、スノー  
ストライダー等の各種ア  
フティティ体験  
(無料でお貸しします)

■入場料／無料

(ただし、スノーモビルのみ  
有料で、週末のみ利用可)  
※雪不足や荒天の場合は閉鎖  
します。市公式HPで確認し  
てください。

■商工観光課 観光物産係  
【内線23】

木質バイオマス燃焼機  
器設置に対する補助金

薪ストーブやペレットス  
トープ等を設置する場合、補  
助を受けることができます。

■補助額／設置費用の6分の  
1(上限10万円)

■対象／住宅用、事業所用、  
農業施設用

※工事着工前に申請が必要で  
すので、必ず事前にご相談  
ください。

■環境エネルギー課 生活環  
境エネルギー係【内線26】

マイナンバーカードの  
取得はお早めに！

証明書のコンビニ交付サ  
ービス開始により、令和  
4年4月から一部の証明  
書が夜間窓口で交付され  
なくなりします。

証明書のコンビニ交付サ  
ービスが始まりました。これに  
伴い、令和4年4月から証明  
書の交付延長窓口業務を一部  
縮小します。

■コンビニ交付には、マイナ  
ナンバーカードが必要です。

■マイナンバーカードの取得  
には、申請から交付まで1  
2カ月かかりますので、早め  
の申請をお願いします。市民  
税務課では、マイナンバー  
カード申請をサポートしてい  
ますので、お気軽にお問い合わせ  
ください。

■コンビニで取得できる証明  
書／住民票謄本・抄本、住  
民票記載事項証明書、印鑑

ゴミの分別は「3つかり！」

「衣類」「み」の中に、食品  
や紙おむつ等の「燃やせるご  
み」が混入している例があり  
ました。

決められたルールを守り、  
しっかりと分別を行った上で  
ごみを出すようにしてくださ  
い。また、ごみの削減にも努  
めましょう。

■環境衛生センター  
☎(25)2737

応急手当講習会受講者募集

突然、心臓や呼吸が止まっ  
てしまった場合、救急車が到  
着するまでの間、「応急手当」  
を行ったかで命は大きく左右  
されます。

講習会で正しい「応急手当」  
の方法を身につけ、家庭や職  
場、自治会の命はもろろん  
あらゆる人々の救命に役立  
ててください。講習会の申込は  
随時行っておりますので、左  
記までご連絡ください。

■市消防本部 救急係  
☎(22)11331

避難経路を確認しましょう！

冬期間、火災が発生した場  
合、積雪や雪囲いが避難の障  
害となる場合があります。ご  
自宅の周りをもう一度確認し、  
2カ所以上の避難経路の確保  
や避難口の除雪をしましょう。

■市消防本部 予防保安係  
☎(22)11331

第68回文化財防火デー

1月26日は文化財防火デー  
です。文化財を火災、震災そ  
の他の災害から守るため、文  
化財防火運動が行われます。

■みなで文化財愛護に関する  
意識の高揚を図りましょう。  
■市消防本部 予防保安係  
☎(22)11331

山形交響楽団定期演奏会  
無料鑑賞券の申込者募集

日時／2月12日(土)午後7  
時

■場所／山形テルサホール  
■申込方法／ハガキに①郵便  
番号、住所②氏名③電話番  
号を明記し、生涯学習スポ

登録証明書、所得課税(非  
課税)証明書、納税証明書  
※コンビニで取得できない戸  
籍謄本・抄本、戸籍の附票  
は、来年度も引き続き、夜  
間延長窓口で交付します。

長根山クロスカントリー  
スキーコース使用について

期間／滑走可能となった日  
は3月20日(日)※予定  
受付・利用時間

Table with 4 columns: 区分, 整備時間, 利用時間, 受付

Table with 4 columns: 区分, 整備時間, 利用時間, 受付

■利用料金／1日券100円、  
シーズン券1千40円  
■利用申請／指定用紙または

豊かな森林環境づくり推  
進事業を募集します

やまがた緑環境税で支援す  
る県民参加による森づくり活  
動を募集します。

■支援する活動内容／  
令和4年度中に実施する左  
記の取り組み

①豊かな森づくり活動  
②自然環境保全活動  
③森や自然とのふれあい活動  
④木に親しむ環境づくり

■募集期間／1月4日(火)～  
2月4日(金)

■町村山総合支庁森林整備課  
森づくり推進室  
☎023(62)8248

山形県立農林大学校  
「新規就農研修生」募集

農業を始めようとする方を  
対象に、研修生を募集します。

■研修期間／1年間(令和4  
年4月～令和5年3月)

■研修先／農業関係試験研究  
機関、先進農業経営者、農  
林大学校等

■受講料／無料(テキスト等  
必要経費は自己負担)  
■申込締切／3月4日(金)

■農林課 特産品ブランド推  
進係 ☎(22)1115

放射性物質測定結果

■上水道 12月7日に上水道の  
水源等から水道水を採水し検  
査を行った結果、放射性セシ  
ウムは検出されませんでした。

■環境衛生事業組合 水道課  
☎(23)2161  
■学校給食 11月18日に給食で  
使用された県外産食材(青森  
県産ニンジン)を事前検査し  
た結果、放射性ヨウ素・セシ  
ウムは検出されませんでした。  
■子ども教育課 学校給食共  
同調理場 ☎(24)3556

Advertisement for Tatamiya Seibei (畳屋清兵衛) featuring a QR code and contact information.

Advertisement for Asahiya Setai (旭屋設備) for advertising recruitment.

Advertisement for Asahiya Setai (旭屋設備) for water pipe maintenance services.